

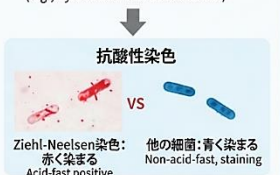
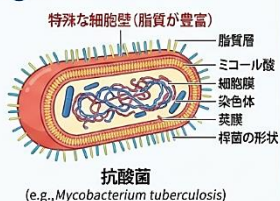
抗酸菌検査ってなんの検査？

すっかり秋めいてきました。これから冬に向かい感染症の季節になっていきますね。当院では抗酸菌検査を時折実施していますが、「何を調べる検査か」知っていますか？ 2025年にもこの話題を取り上げましたが、わかっているといないのでは感染対策に大きな違いが出てきます。正しい知識で正しい感染対策を実施することで患者や職員の安全も守れます。そこで今回は抗酸菌検査について取り上げます。

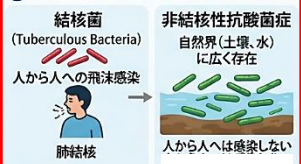
抗酸菌について今回もイラストでまとめてみました。

抗酸菌の理解：構造、感染、検査、そして治療

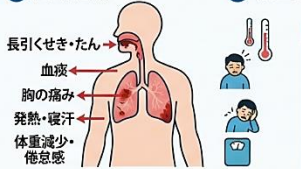
① 抗酸菌の構造特徴



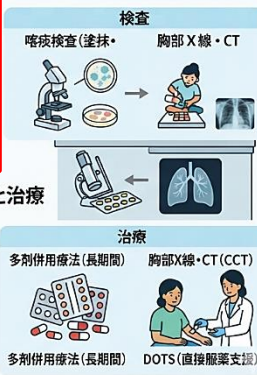
② 主な種類と感染経路



③ 主な症状



④ 検査と治療



抗酸菌とは特殊な細胞壁（脂質が豊富な壁）を持ち、一度染色されると酸やアルコールで色が落ちにくい（脱色されにくい）性質を持った細菌の総称。赤く染まる。代表的な抗酸菌は「結核菌」です。人から人へ空気（飛沫核）感染するため、見つかった場合は厳重な対策が必要です。

また、最近増えているのが「非結核性抗酸菌（NTM）」：結核菌以外の抗酸菌のことで、土や水の中にいます。人から人へは感染しませんが、お風呂場などの水回りを介して肺に感染し、長引く咳を引き起こすことで近年注目されています。

抗酸菌検査の注意事項

- 喀痰の抗酸菌検査（塗抹）の指示が出たら、結核を疑っている可能性があるため、個室で採痰。対応する職員はN95マスク着用。結果が出るまでは個室のまま。
- 一般培養検査と一緒に指示が出ることが多い。「抗酸菌」の検査かどうかしっかり確認する。
- 塗抹検査は当日に結果がでるが、約1～2時間程度時間を要する。検査はダブルチェックするため夕方に検体を提出する場合、当日に結果が出ない場合がある。できるだけ早めに検体は提出する。
- 喀痰の抗酸菌検査は3日連続で採取する「3連痰」が原則。
- 抗酸菌陽性の場合、検査科から連絡が入るため、速やかに空気感染対策を開始する。

STEP 1 検体採取の注意

必ず個室（陰圧室など）で採取する



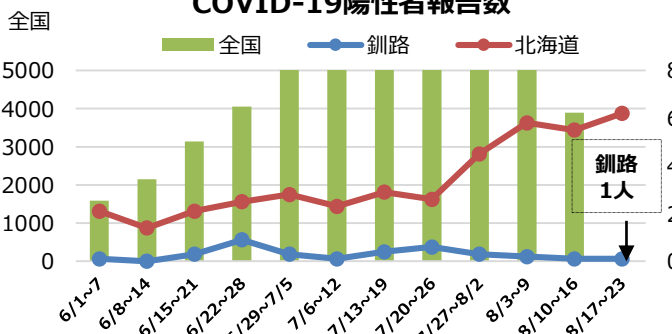
- ・患者に深く吸い込ませて咳をてもらう
- ・容器の外側を汚染しない

✗ 素手で痰を扱う

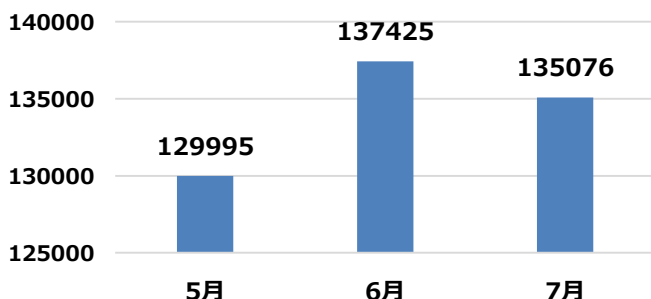
抗酸菌検査時は必ず個室で検査すること。対応するNsはN95マスクを着用すること。



COVID-19陽性者報告数



2026年度 5~7月 手指消毒薬使用量



院長コラム

抗酸菌検査、古くから行われている検査です。主に結核菌の検出のために行われますが、結核自体十分に注意が必要です。今回のニュースでは非常にわかりやすく説明されています。勉強しておいてください。



感染症対策のお願い

発熱などの有症状時は直接受診することは控え、病院へ連絡してから来院して下さい。当院への受診の際は必ず、マスク着用をお願いします。また、受診時の付き添いの方は1名までとさせていただきます。面会是个々の患者さんの状態に応じて対応しています。陽性の方は症状悪化した場合等は診断を受けた医療機関へご相談下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。